

ワークショップ 大学生主な意見まとめ

プロジェクト番号表		
プロジェクト 1	子育て世代向け住宅施策プロジェクト	子育て世代のニーズに合った住宅施策
プロジェクト 2	子ども・子育て支援プロジェクト	子どもが育つ環境の充実
プロジェクト 3	(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト	子育て世代に好まれるような生活基盤の整備

A

→

E

実現性 高 低

	Gr 人数	プロジェクト 番号	タイトル	取組 区分	取組の目的	ターゲット	取組の具体的な流れ	必要な資源	コスト	補足点	実現性の グループ内 評価	グループ内評価内容
1	3	2	悩めるママの相談プロジェクト (ママプロ)	改善	・出産する全てのママの問題を解決する為	悩みを抱える ママ達	・LINEでママ相談所を作る (オープンチャットや公式アカウント)	・技術者 ・助産師、栄養士の 仲介役 ・先輩ママ	・人件費	・SNSを用いてこの取組を知って もらう	B	・現在あるママのおしゃべり会より悩みを解決 するママ数が増加するところは高評価だが、 意欲のないママからしたら低評価であると考え
2	6	2	小・中学生 給食と弁当を選べる制度	新規	・アレルギーの子ども、給食費を払うことが困難な子ども、食べる量、好みなどそれぞれの子どもにあった食事選択の自由を目指すため	・小、中学生	・毎日給食を提供する ⇒2週間ごとに、各家庭に給食かお弁当の選択 ⇒この取組を宣伝する	・給食センターの労働力 ・人件費・仕事の割り振り			B	・家庭のによってこの取り組みの満足度に個人差あり
3	5	2	ママさんチャット	改善	・コミュニティが苦手な人でも、匿名だから相談しやすい	・ママさん	・アプリシステムの改善 ⇒認知させる(広告等) ⇒普及	・システムエンジニア ・運営者 ・管理者	・広告費 ・アプリ改善費 ・維持費		A	・元々存在しているアプリの改善だから
4	4	2	・子育てプロジェクトの認知度の向上	新規	・子育てしやすいまちづくり	・子育て世代	・ポスターを貼る(保育所、産婦人科など)	・紙 ・企画チーム ・編集者 ・カメラマン	・印刷代 ・広告費		B	・CMIはコストがかかる
5	6	2	・子育て関連のHPの運用	改善	・子育て情報の発信	・子育てする人	・各SNSの公式アカウントを作成する ⇒HPにそれぞれのURLを載せる (Instagram・X・YouTubeの動画作成)	・撮影 ・編集者 ・SNS拡散者 ・撮影機材 ・画像動画編集ソフト ・SNS	・撮影場所		B	・低コストで多くの人に情報を発信できる
6	4	2	・パパも	改善	・パパも子育てに参加	・産後のパパ、ママ	・ママのおしゃべり会をパパとママのおしゃべり会にする ⇒講習会を開く		・0円		A	
7	5	3	人が集まる場所をつくる	新規	・交流の場をつくるため	・親子	・イオンなど既存の施設で、パパ、ママのおしゃべり会を企画する	・土地 ・建設業者	・必要な全額(イオンの場合)87億		A	